

小出千之助と佐野鼎

～幕末、遣米使節として2人が見た世界と英語教育にかけた思い～

柳原三佳氏（ノンフィクション作家 万延元年遣米使節子孫の会 佐野鼎親族）

EU統合思想の提唱者クーデンホーフと、その母光子

内藤徹雄氏（共栄大学名誉教授 佐野鼎研究会世話人）

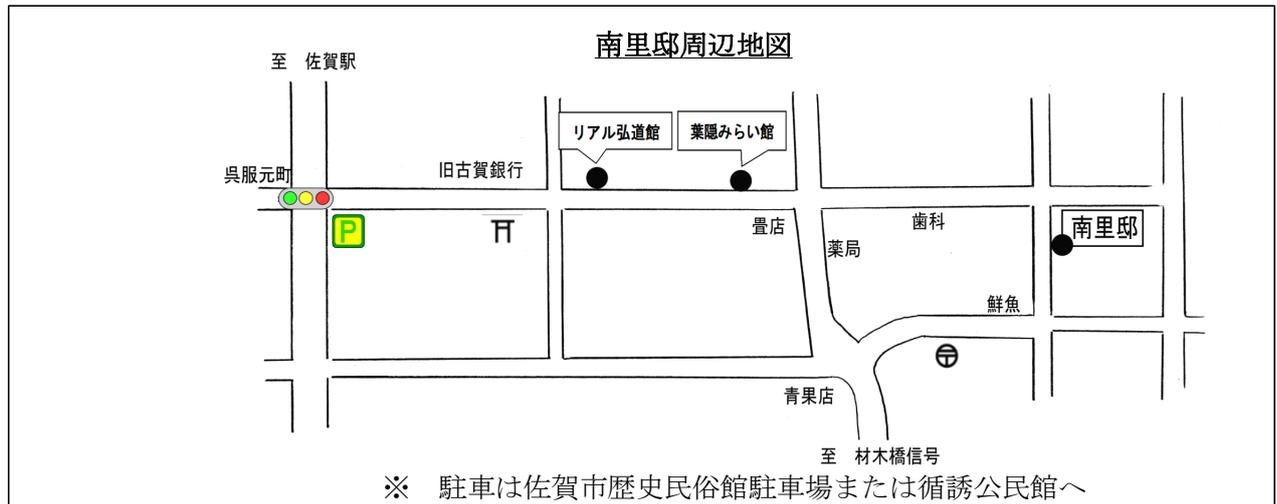
日時 2018年10月20日（土）14:00～16:00

場所 南里邸（佐賀市柳町9-8）

連絡先 佐賀市観光協会 TEL 0952-37-7489

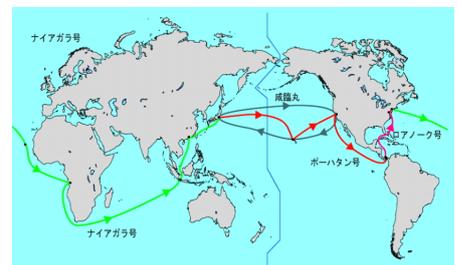
主催 南里邸

協賛 本村製菓株式会社



参考

- ▶ 洋学と言えは蘭学であった幕末、遣米使節の一員としてアメリカを訪問し世界を一周してきた佐賀藩士小出千之助は、「もはや世界に通じるのは蘭学ではなく英学である」と痛感し、佐賀藩の英学校設立につなげた。
- ▶ 加賀藩士佐野鼎^{かがねえ}は、遣米使節で小出千之助と同行し、帰国後、東京で共立（きょうりゅう）学校を創立、この学校は開成学園として今日に繋がっている。



万延元年（1860年）遣米使節航路

- ▶ リヒャルト・クーデンホーフは、1894年（明治27年）駐日オーストリア代理公使ハインリヒ・クーデンホーフと妻光子の二男として東京で誕生。光子の祖父青山喜八は佐賀出身。
- ▶ リヒャルトは”汎ヨーロッパ論”を唱え、この思想は現在のEUに繋がる。
- ▶ パリのグラン社が1919年に、東洋の神秘的な香りとして売り出した香水「ミツコ」は、クーデンホーフ光子にあやかって名づけられたといわれている。



香水「ミツコ」